

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル栗東			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数)	14人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童様が安心して来所され、幅広い活動を実施しています。	・活動に偏りがないよう、5領域をバランス良く、取り入れながら、様々な活動を行っております。 ・児童様に直接ご要望を聞くなどしながら、活動内容を計画しております。	個別の専門的支援では、児童様、保護者様からの聞き取りを密にして、更に充実した内容を取り入れてます。
2	事業所のチームワークが丸となって、同じ方向性を持って支援しております。	日々の児童様の様子を密に共有し、ご家族様や学校、幼稚園等と連携して、同じ方向性を持って、支援に取り組んでおります。	今後も情報共有を深めながら、支援していきます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設側が、保護者様との認識の違いに気付いていないことがあると気づきました。	保護者様の就労等により、コミュニケーション不足が要因かと考えています。	支援計画の説明や送迎時の情報共有だけでなく、相談支援を活用して普段話にくい事柄や家族の中の困り事などを、話してできる場を施設側が積極的に設けていきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル栗東

公表日 令和7年 3月 12日

利用児童数 16人

回収数 14人

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	4	1		・でも利用させて頂けるだけ有難いです。 ・まだ活動に参加できていないため	物の配置等を考え、適切なスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10		1	3	・でも利用させて頂けるだけ有難いです。 ・先生の数が多。	適正人員を配置しております。療育内容の質の向上のため、専門職を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2		2	・でも利用させて頂けるだけ有難いです。	バリアフリー化でわかりやすい構造になっております。情報伝達等、視覚で理解出来るように配慮しておりますが、さらに工夫をして情報伝達に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			2	・でも利用させて頂けるだけ有難いです。	のびのびと児童達が過ごせる環境に配慮しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1		1	・慣らしのため療育を本格的にまだしていません。	個別活動では専門的支援を行いながら、集団活動にも参加できるように支援しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		2		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1			・私の希望を取り入れてくださっている。	分析した上で、作成はしておりますが、その都度本人や保護者様のニーズに合っているかを再確認していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1				今後は更に細かいところにも配慮しながら、支援内容の設定を行います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1		1	・慣らしのため療育を本格的にまだしていません。	計画に沿って支援は進めておりますが、変更が必要な場合は早急に保護者様に説明して、変更していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			1	・屋外イベントが多彩。工作より外遊び派の娘にピッタリです。 ・毎日違う内容の活動をされている。	活動に偏りが無いよう配慮し、様々な活動プログラムにしております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	3	4	・交流の機会なし。	現在はなかなか機会がありませんが、今後は検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	2				相談があれば、対応しておりますが、今後は積極的に施設側から行っていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	2		1		同意は得ていますが、保護者様の要望等がある場合は、早急に対応いたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	3	1	・研修会等の機会なし。	現在は行ってないため、今後検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1			・預り中の画像をたくさん見せてもらえるので、安心かつ通所が楽しみです。	送り時に児童様の様子の情報交換をしたり、家族支援により、共有理解していますが、今後は更に密にするよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3	1		・相談すれば対応有。 ・面談なし、LINEのみ。	施設側から積極的に困り事などを伺い、早急に対応いたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	4	2	・交流の機会なし。	現在はなかなか機会がありませんが、今後は検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			1	・まだ相談の申し入れ等したことないため不明。	申し入れがあった際は、早急に対応しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1		1		障がいに合わせて、理解しやすいよう配慮しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		1		SNSを使用して、発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		3		契約書には記載していますが、今後はSNS等を用いて、発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2		3		年2回の避難訓練はしていますが、緊急時に慌てず対応するため、普段の活動にも取り入れていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2		2		支援計画ではご家族へ伝えていますが、更に密に情報を共有して周知していただけるよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		1	・まだ事故等がないので不明。	事故の際には、速やかに保護者様と連絡を取り、詳細な状況をお伝えし、対応を相談させて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				・自分から送迎車の方へ行ってくれるので、安心してもらう。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			・ニコニコ笑顔で帰宅します。 ・まだ意思を伝えてくれないので不明。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1			・療育の計画内容に沿って活動できているのがあまりわかりにくい。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル栗東				公表日	令和7年 3月 12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		物の配置等を考え、適切なスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7人		7人		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化でわかりやすい構造になっております。	情報伝達等、視覚で理解出来るように配慮しておりますが、さらに工夫をして情報伝達に努めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		のびのびと児童達が過ごせる環境に配慮しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		部屋の一区画に落ち着ける場所を設けております。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々業務の途中や終了時には、振り返りを行い、今後の改善に努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を参考にし、改善が必要である場合には、早急に相談支援を行っております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々職員間の会議を行い、業務改善に努めております。職員全員が受信するSNSを活用し、業務中でも情報を共有出来るようにしております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現状、外部評価を行っておりませんが、今後施設見学等含めて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間研修計画を策定し、毎月職場内研修を実施しております。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			分析した上で、作成はしておりますが、その都度本人や保護者様のニーズに合っているかを再確認していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		常時、全職員と会議を重ね、作成をしております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			計画に沿って支援は進めておりますが、変更が必要な場合は早急に保護者様に説明して、変更していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の児童の行動は細かく、書き留めております。	今後は職員全員が周知して、もれのないように注意していきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			今後は更に細かいところにも配慮しながら、支援内容の設定を行います。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チーム全体で話し合いながら、立案しております。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動に偏りが無いよう配慮し、様々な活動プログラムにしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動では専門的支援を行いながら、集団活動にも参加できるよう支援しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事前に職員間で打ち合わせを行い、児童の行動に目を配れるよう担当制を取り入れています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々職員間の会議を行い、業務改善に努めております。職員全員が受信するSNSを活用し、業務中でも情報を共有出来るようにしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、細かくメモを取り、次の支援に繋げて、改善を行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			定期的な見直しは行っておりますが、今後は見直しの必要がある場合には早急に保護者様と相談して、支援を見直します。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		常時、児童の様子、行動を理解した者が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			今後、検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		児童の迎え時に、保育所や幼稚園での様子を伺い、本人、家族支援に繋げております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現在は行っていないため、移行の際には、相互理解を図っていきます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		電話で、相談させて頂くことはありますが、今後は更に機会を増やしていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在はなかなか機会がありませんが、今後は検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送り時に児童様様の様子の情報交換をしたり、家族支援により、共有理解していますが、今後は更に密にするよう努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在は行っていないため、今後検討していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		相談があれば、対応しておりますが、今後は積極的に施設側から行っていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			今後は回数を密にしています。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			同意は得ていますが、保護者様の要望等がある場合は、早急に対応いたします。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		施設側から積極的に困り事などを伺い、早急に対応いたします。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		感染症等の都合で難しくはありますが、今後は検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れがあった際は、早急に対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを使用して、発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障がいに合わせて、理解しやすいよう配慮しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		感染症等の都合で難しくはありますが、今後は検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		契約書には記載していますが、今後はSNS等を用いて、発信していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回の避難訓練はしていますが、緊急時に慌てず対応するため、普段の活動にも取り入れていきます。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様からの情報により、把握しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			年2回の避難訓練や職員向けにAED講習会等実施していますが、緊急時に慌てず対応するため、普段の活動にも取り入れていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		支援計画ではご家族へ伝えていますが、更に密に情報を共有して周知していただけるよう努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間で、改善策を話し合い、策定しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修にて再認識するように対応しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		その都度、保護者様に伝え、承諾をいただいた上で対応しております。	